

日本商業教育学会 埼玉支部 会報

★★ 埼玉の商業教育を創造する ★★

平成28年3月31日発行

関東部会研究協議会発表

「破壊的技術に打ち勝つ組織づくりと運営」

私は、アクティブ・ラーニング（以下、「AL」という）はクレイトン・クリステンセンの言う「破壊的技術」、つまり「持続的技術」の向上を目指している巨大企業を滅ぼす、革新的技術になり得るといふ仮説を持っている。この仮説が検証されるならば、学校は一斉授業型という持続的技術の向上を目指した組織形態や運営方法ではALを採り入れることができず破滅へと導かれることになってしまう。

そこで、学校教育の発展のために、破壊的技術を採り入れるために在るべき学校組織の形態や効果的な運営方法について、以下に論じる。

1. ALは破壊的技術になり得るか

ALは、クリステンセンの言う「破壊的技術」の5つの原則に当てはまる。それは「企業は顧客と投資家に資源を依存している」、「小規模な市場では大企業の成長ニーズを解決できない」、「存在しない市場は分析できない」、「組織の能力は無能力の決定的要因になる」、「技術の供給は市場の需要と等しいとは限らない」である。ALはこれに全て該当する。

2. 破壊的技術を取り入れるための学校の組織や運営方法

クリステンセンは破壊的技術に対抗するには、破壊的技術の導入を推進する独立組織に任せることを勧めている。そこで、ALを研究するプロジェクトチーム（以下、「PT」という）をひっそりと立ち上げ、しかもメンバーはALに関心を持つ者や若手を中心とする。これは反対派からの攻撃を避けるためである。また、PTはできる限り小さな組織が望まれる。PTのメンバーが小さな成功にも前向きになれば、職務満足が生じやすいからである。そして、PTは失敗に備えるべきである。一歩進んでは立ち止まって分析とフィードバックを行い、計画を修正していくことが肝要である。最後に、躍進を期待してはならない。ALの技術の急激な成長はその成果に見合っていないければ不要論が生じかねないからである。

AL導入に対しては、組織に横串を入れる小規模かつ機動的な機能横断型チームの採用と運用が求められる。（発表要旨）

平成27年10月18日（日）

県立吉川美南高校 内田靖先生 発表

支部総会・研究会報告

●さいたま市民会館うらわ

●平成27年5月30日(土)

【議題】 ① 平成26年度活動報告、会計報告、② 平成27年度活動計画、予算（案）、

③ 平成27年度第26回全国(千葉)大会について、④ 会費について、⑤ その他について

【研究会】 全商発行冊子「次期学習指導要領改訂に向けて～現行学習指導要領に基づく教育課程（商業）の実施状況と課題 そのⅡ～」を資料にして、「ジグソー法」を用いて学習と研究協議を行った。

【支部役員】

○ 顧問 松井 隆 梶 寛治 ○ 支部長 内田 靖 ○ 副支部長 西木 成男 三輪 全

○ 幹事 白井 智也 辻本 秀樹 ○ 監事 中山 望 野口 剛志 （敬称略）

【会員研究報告】 各学校の取組について

【参加者数】 6名

■千葉商科大学（千葉県）
■平成 27 年 8 月 8・9 日（土・日）

全 国 大 会 報 告

第 26 回全国(千葉)大会は、本会会長の中澤興起先生が会長職を御退任される年に、長年お勤めになられた千葉商科大学で盛大に開催されました。

【講演】 ①「グローバル人材の育成と学校教育への期待」NPO法人国際社会貢献センター 理事長 齋藤秀久 氏 ②「代替し得ない商業高校の実現」文部科学省教科調査官 西村修一 氏

【研究報告（統一論題）】 ①「商業教育の新たな評価法に関する研究－職業バカロレアの試験手法の試験的導入－」 ②「グローバル人材育成の取組 ESD世界会議交流活動の成果と課題」 ③「グローバル化に対応したビジネス情報分野における革新的人材育成」 ④「日本の和ブランドのグローバル化－商業教育に求められるローカル化からグローバル化を中心に－」

【研究報告（自由論題）】 ①「商業教育を活かしたメソッドの開発－継続教育時代に求められる新たなゴール－」 ②「急激に変化する社会と会計教育」 ③「商業高校へのアンケート調査を通じた学習指導要領改訂前後の教育状況に関する一考察」 ④「大学教育から見た商業教育の優れた面と改善すべき点」 ⑤「今、蘇る三大商人（近江・伊勢・大坂）の教え～顧客満足・流通革新・起業家精神～」 ⑥「簿記の授業を楽しませるための試み」 ⑦「産業集積域内外におけるアンカー企業の役割－燕・三条産地域内外の中小製造企業連携構造を例に－」 ⑧「商業教育の使命と展望」

【本支部参加者】 梶 白井 並木 辻本 三ヶ尻 三輪（敬称略）

関 東 部 会 報 告

●東京都立芝商業高等学校（東京都）
●平成 27 年 10 月 18 日（日）

【研究会発表及び発表者、特別講演及び講師】

- 発表 1 「破壊的技術に打ち勝つ組織づくりと運営について
～果たしてアクティブ・ラーニングは破壊的技術なのか～」
埼玉支部 埼玉県立吉川美南高等学校 内田 靖 先生
- 発表 2 「商業教育において、継続的に地域を活性化させる
リーダーを育成するための指導方法」
群馬支部 群馬県立前橋商業高等学校 金井 隆雄 先生
- 発表 3 「地域連携による商業教育の在り方」
千葉支部 千葉県立一宮商業高等学校 森 豊巳 先生
- 発表 4 「産業科における商業教育について」
東京支部 東京都立八王子桑志高等学校 東濱 卓 先生
- 特別講演 「ビジネスマンから見たビジネス教育の現状と課題」
東京都立大田桜台高等学校 校長 酒寄 誠 先生

【参加者】 内田 白井 辻本 三輪（敬称略）

★実教出版株式会社

★平成 28 年 2 月 7 日（日）

本 部 研 究 会 報 告

- 講演 1 「アクティブ・ラーニングの授業づくり ～実践と課題～」
一般財団法人 教育調査研究所 寺崎千秋 様
- 講演 2 「OBFの成果と次のステップに向けて ～一期生が巣立って～」
大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 澤井 宏幸 様

【参加者】 梶 白井 辻本 並木 三ヶ尻 三輪（敬称略）

*** 訃報 ***

千葉商科大学教授の御勇退、そして、第 26 回全国(千葉)大会を長年御勤務された同大学で開催した後、中澤興起前会長が急逝されました。商業教育の発展に貢献され、最後まで商業教育のため走り続けられました。中澤先生の御冥福をお祈りしますとともに、永井克昇新会長の下、会員一同、心を新たに商業教育の振興に尽力してまいりたいと存じます。